

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|----------------|-----|---------------|
| ○事業所名 | 川西さくら園（児童発達支援） | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年 11月 12日 | | 2024年 11月 25日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 25名 | (回答者数) 25名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年 7月 19日 | | 2024年 7月 26日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 22名 | (回答者数) 22名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2024年 12月 25日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 保護者同伴通園なので、保護者と職員がお子さんの日々の姿と一緒に確認でき、保護者と共通理解のもと支援をしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの行動の裏にある気持ちや行動の意味を、その都度伝えるようにしている。 ・保護者の思い等をその場でできとったり、必要に応じて面談を随時行っている。 ・保護者の目の前で、お子さんの支援の見本をみせたり、一緒に考えるようにしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在も分離日を設けているが、今後も保護者の意向も確認しながらお子さんの年齢に合わせて、お子さんと保護者の負担とならない分離の頻度等を検討していく。 |
| 2 | 保育士、セラピスト（PT・OT・ST）、看護等多職種で連携して子どもの発達を見極め、支援している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・個別または集団でのリハビリを実施。 ・クラス活動の中にリハビリ職員が入り、集団活動や給食での様子も踏まえて評価できるようにしている。 ・会議の場に限らず、日々情報共有や相談を随時おこなっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・個別リハビリのニーズは高いため、在園人数と使用できる部屋の調整を行い、リハビリの頻度を検討していく。 |
| 3 | 保護者同伴通園だからこそ、保護者同士がよりつながりがもてる | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者交流会を定期的に設け、地域別グループ等、クラス以外の異年齢のお子さんの保護者とも交流できるようにしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意向を確認しながら、保護者交流の機会の拡充をはかる。 |
| 4 | 卒園児の保護者から、情報収集できる機会がある | <ul style="list-style-type: none"> ・卒園された保護者と交流できる機会を設け、卒園後の話をきいたり、繋がれる機会をつくっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意向を確認しながら、保護者交流の機会の拡充をはかる。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | ・バリアフリーではない箇所が多いことや、こども用のトイレの数やスペースに限りがある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・建物が古いため、段差を少なくしたり、空いているスペースを確保する等の対策はしながら、市に現状を伝えている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・建て替え等の抜本的な変更は今後も市と協議をすすめながら、事業所内の修理や、物品の整理、物の配置の見直しをする等、できることを続けていく。 |
| 2 | ・きょうだい児支援が十分にできていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策のため、行事の見直しをおこなったこともあり、きょうだい児の参加できる行事が減少した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい児の参加できる行事の拡大に向けて検討する。 ・きょうだい児の交流ができる機会について検討する。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 川西さくら園

公表日 2025年 2月 6日

利用児童数 25名

回収数 25

| | | チェック項目 | | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------------------------------|----|---|----|---------------|-----|-------|--|---|
| | | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 18 | 5 | 1 | 1 | ・ある程度広さは確保できているが、活動によっては、2グループに分けて広く使えている。 ・広い部屋や園庭があるので色々な活動ができる。 ・人数に対して教室が狭い。 | ・安全に過ごしていただけるように、クラスの部屋だけでなく、共有スペースの活用や活動内容を工夫します。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 20 | 4 | 0 | 1 | ・担任以外の職員も入ってくれる時もあり、安心。それぞれの子どものことを把握してくれている。 ・職員が多いので話しかけやすい。 ・職員が少ないと感じるときもある。 ・車いすからの乗り降りを少し手伝って欲しい。 | ・職員数は配置基準は満たしていますが、活動内容等必要に応じて、クラス担任以外の職員が応援に入るようにしています。今後もクラス職員と調整しながら、必要な時間には、応援に入るようにします。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 19 | 4 | 0 | 2 | ・段差や隙間があり車椅子が動かしにくい時があり、バリアフリーになっていない所もあるが、視覚支援や衝立を使っていたり登園時の導線がわかりやすくなっていて、子どもにわかりやすい環境になっている。 | ・バリアフリーになっていない部分は、安全を考慮して工夫をしたり、通路が通りやすくなるように努めます。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 20 | 5 | 0 | 0 | ・古いが清潔感はある。掃除が行き届いている。床にマットが敷かれていて安心して活動できる。トイレもきれいにしている。 ・遊具の劣化を感じる時もある。 ・トイレの数が少ない。 | ・遊具の劣化につきましては、買い換えを順次しております。 ・トイレは、各部屋のものを広くしたり数を増やすことは難しいですが、別の部屋や2階にもありますので、そちらも利用していただくようお声かけしています。 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 22 | 3 | 0 | 0 | ・あらゆる分野に専門性の高い職員がいて、よく話を聞いてくれ、支援につなげてくれるので、親子で安心して通える。 ・子ども一人ひとりの特性をわかって、個人に合わせた対応をしている。 ・子を理解した上で助言がもらえる。 ・もう少し、個別リハビリの時間を増やして欲しい。 | ・個別のリハビリの回数は、お子さんの年齢や状況によって毎年検討しています。ご意見を次年度の参考にして検討していきます。 |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 19 | 3 | 0 | 3 | ・利用者に公表されている内容と相違ないと思う。書面でもらっているためわかりやすい。 | ・ホームページへの公表はまだできていませんので、今後期限までに掲載していきます。 |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 23 | 2 | 0 | 0 | ・子どもに合わせてそれぞれのペースを進めてくれる。 ・子どもの現状をよく把握し、具体的な計画が立てられている。 ・保護者が書く振り返りや課題もしっかり考慮してくれている。 | ・今後も、お子さんの発達状況や保護者のニーズを把握して、児童発達支援計画を作成していきます。 |
| | 8 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 18 | 2 | 0 | 5 | ・事細やかな支援内容が記入されている。親もどう支援すべきかわかりやすい。 | ・引き続き、お子さんの特性や発達状況を把握し、具体的な支援内容を設定していきます。 |
| | 9 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 21 | 3 | 0 | 1 | ・計画通り進められている。 ・子どもの課題を共通理解した上で支援できている。 ・集団の中で個別の支援をしてもらうのは難しい。 | ・集団活動の中で個別に関わることには限りがありますが、困り事があれば一緒に考えていきます。 |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 22 | 1 | 1 | 1 | ・毎日違う活動があり、楽しみに通える。固定化しないよう工夫されている。ねらいを定めた、かつ子どもが楽しめる色々な活動を毎日行っている。 ・園庭活動や散歩はいつも同じようなので、何かみんなで取り組めるあそびがあればと思う。 | ・引き続き、活動やプログラムが固定化しないよう工夫します。 ・園庭活動では、グループ活動をしているクラスもあります。今後もお子さんの年齢や様子に合わせてグループ活動を実施していきます。 |

| | | | | | | | | |
|----------|----------------------------|--|----|---|---|---|--|--|
| | 11 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 14 | 3 | 5 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に幼稚園との交流があり、刺激になるのでよい。交流があるようだが、まだその機会がない。 ・地域の幼稚園との交流は、自ら断っている。子どもにとっては慣れない場所です保護者だけで交流させるのは難しく思う時がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は3歳以上の親子で地域の幼稚園へ交流に参加してもらいました。コロナ感染流行前に実施していた、低年齢のお子さんの交流や、園職員が引率する交流の実施も、検討していきます。 |
| 保護者への説明等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 24 | 0 | 0 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に教えてもらった。 ・説明後、こちらの疑問にも答えてもらえてよかった。 ・変更時にも丁寧に説明を受けた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、丁寧に説明し、疑問にも丁寧に答えられるように努めます。 |
| | 13 | 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 25 | 0 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画を見ながら、日頃の子ども様子や強みを交えて、丁寧にわかりやすく説明してもらった。 ・支援内容も明確でわかりやすい。 ・疑問点はその都度質問すると応えてくれる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、児童発達支援計画を見ながら、丁寧にわかりやすく、具体的に説明を行っています。 |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 24 | 1 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの接し方等、色々なテーマで研修会があり、保護者が勉強する機会がある。資料もわかりやすく、家族にも情報共有しやすい。 ・日曜日に開催されたり、父親が参加できる機会がありました。もっと増やして欲しい。 ・外部に保護者が参加できる研修があれば、紹介して欲しい。 ・後からzoom等であれば嬉しい。家族にも見てもらえて、家族の理解も深まると思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日曜日開催の研修会には、家族の方がたくさん参加してくださいました。今後も、家族の方が参加できる研修や、zoom等の利用も検討していきます。 ・外部の研修会につきましては、ご案内できるものがありましたら、クラスに掲示するようにします。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。 | 22 | 2 | 0 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・困ったことはすぐに聞けるし、小さな成長にも気づき、ほめてくれるので嬉しい。分離療育日の様子も教えてくれる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、お子さんの発達状況や成長を保護者の方と確かめ合い、情報共有を行っています。 |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 23 | 2 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・面談の予定がなくても、相談をしたい時に時間を作ってくれる。 ・日頃から助言をもらったり、相談にのってもらえることができる環境。 ・職員からも声かけしてくれる。 ・忙しいので言いにくいときもある。 ・定期的な面談や、心理士や医師と話す機会がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、定期的な面談と、保護者が相談したい時等に面談時間を設定していきます。 |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 24 | 1 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・少しの成長でも見逃さず、報告してくれたり、一緒に喜んでくれる。 ・共感的に支援してもらえ心強いし、1人で子育てしているという思いがなくなった。 ・子や親に寄り添った支援をしてもらっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、お子さんや保護者に寄り添い、思いを理解して、共感的に支援していけるように努めます。 |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 14 | 8 | 0 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者交流会は定期的な実施があり、他クラスや他学年の保護者と話ができて、参考になる話もあり、ありがたい。時間が短いのが残念。 ・父親が参加できる研修会もあった。 ・運動会できょうだいの出番があり良かったが、きょうだい同士の交流はない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者交流会は今後も実施し、回数や時間については検討していきます。 ・きょうだいや他の家族の交流については実施できていないので、できる方法や内容を考えていきます。 |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 18 | 2 | 0 | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・いつでも話を聞いてもらえる環境にある。相談するといつでも真摯に対応してくれる。きょうだい等園児以外の相談にものってもらい支えてもらった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、相談していただきやすい雰囲気作りを心がけ、相談がある場合には、時間を設定して、丁寧に対応していきます。 |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 23 | 1 | 0 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・お知らせ等細かく連絡してくれる。子どもの様子を報告してくれたり連絡ノートに記入してくれたり、情報共有している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、お子さんや保護者と意思疎通や情報伝達ができるよう配慮していきます。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 17 | 5 | 0 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月のおたより詳しく載っているし工夫されている。おたよりは月間スケジュールや色々な情報が得られる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、毎月のおたよりでは、月間スケジュールをお知らせし、内容も工夫できるよう努めます。 |
| 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 21 | 1 | 0 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・写真や動画の撮影について、意見を聞いてくれて、よく考えてくれている。細やかな部分まで配慮や同意書等があり、安心。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、個人情報には十分に配慮し、安心して通園していただけるように努めます。 | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|---|--|
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 20 | 3 | 0 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の前には、子どもたちにも紙芝居等で説明してくれる。訓練数は多く、防災頭巾を被ることも抵抗なくできるようになった。感染症マニュアルはプリントが配布され、詳しく説明され、見返すこともできて良い。 ・防犯マニュアルはわからない。 | ・マニュアルは作成していますが、利用者に説明できていないものもあります。利用者が見ることのできるような工夫をして、わかりやすく説明しています。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 25 | 0 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・水害・地震・火災の避難訓練を実施し、流れを学ぶことができた。 ・紙芝居を使い、子どもたちにわかりやすく伝えているのが良い。 ・頭巾を被る練習もでき、消火器の使い方の練習もあり、参考になった。 ・医療的ケア児の対応を周知してほしい。 | ・引き続き、水害・地震・火災等の避難訓練を毎月実施します。 また、医療的ケア児の個々に合わせた対応を、職員全員に周知します。 |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。 | 20 | 3 | 0 | 2 | ・自分の地域の防災マップの確認などの研修もあった。安全を確保するための計画についてはわからないが、子どもに危険が及ばないよう、職員がとても注意して見ている。 | ・安全を確保するための計画については説明ができていないので、今後説明をするようにします。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。 | 15 | 3 | 0 | 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・経験がないためわからないが、日頃から細やかな報告があるので、信用できる。病欠の時、相談できたり連絡を取ってくれて、安心。 ・何人かの職員から状況説明があり安心。 | ・引き続き、事故やケガが発生したときには、速やかに対応を行い、丁寧に説明します。 |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 22 | 2 | 0 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・園に行くよ、と言うと、急いで用意し始め、行く気満々。子どもも親も安心と信用がある。 ・コミュニケーションがとれないため、本人の気持ちはわからないが、園に行く笑顔になり、楽しい場所というのはわかっていると感じる。 | ・引き続き、お子さんにも保護者にも安心して通園していただけるよう、寄り添いながら、ニーズに合う支援ができるように努めていきます。 |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 19 | 3 | 1 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎日違う絵本や歌・遊びがあるので、楽しみにしている。お迎えが来ると笑顔になり、活動中も笑顔が増え、楽しんでいる。母が準備をしていると、自分のカバンを持ってきて、母より先に玄関で待っている。 | ・引き続き、楽しく通園していただけるように、職員全員で工夫・努力をしています。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 21 | 4 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・初めは不安もあったが、今は満足して楽しく通っている。家ではできない経験がたくさんできて満足している。丁寧な個別の支援もありありがたい。一人ひとりの子どもと親に向き合ってくれ、成長をとともに喜んでくれるので、とてもありがたい環境だと思う。 ・個別指導の時間を増やして欲しい。 ・子どもがちょっと頑張らないとできない事にもチャレンジしたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・個別指導（リハビリ）の時間は、お子さんの年齢や発達状況によって毎年検討しているので、保護者の意見も参考にしながら検討します。 ・活動内容については、希望の活動があれば職員にお声かけていただき、実施について検討します。 ・今後も、皆さんに安心して楽しく通園していただけるよう、努めていきます。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 川西さくら園 | | 公表日 | | 2025年 2月 6日 | |
|---------|--------|---|-----|---------|--|---|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 19 | 3 | ・ 衝立等を使いスペースを活用している。 ・ クラスを2グループに分け少人数での活動に取り組んでいる。 ・ クラス以外の部屋も活用。 | ・ 子どもの特性によっては、保育室が狭く感じることがある。 ・ カムダウンできる場所が取りにくいときもある。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 20 | 2 | ・ 園全体で情報共有がされており、どの職員も応援に入れる。 ・ フリー職員が数人いるので、必要に応じた応援に入ることができ、柔軟に対応できている。 | ・ 分離療育日は、規定の職員数はいるが、対応するにはギリギリだと感じることがある。 ・ 手厚い支援が必要な子どもが多いため、規定より多い職員配置でも、手薄になることがある。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 20 | 2 | ・ 全てがバリアフリーになっていないが、利用者が困らないように配慮している。 ・ 全体的な視覚支援や個人用の手元カード等充実している。 ・ シートや机・衝立等を利用しながら、子どもにとってわかりやすい環境・集中しやすい環境を作っている。 | ・ トイレの数が少なく、スペースも狭いので、使いにくい。 ・ 建物が老朽化してきているので、設備の更新があればなおよい。 ・ 肢体不自由児にとっては、スムーズに移動しにくい所がある。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 16 | 6 | ・ 毎日、掃除と消毒を行い、清潔を保つように努めている。 ・ フロアマットを敷き詰めて安全に配慮している。 ・ 危険な箇所の点検・修理はその都度行っている。 | ・ トイレが狭いので、着脱の練習が難しい。 ・ 施設の老朽化のため、窓や網戸に不具合がでたり、清掃しても汚れが取りきれない時がある。 ・ 劣化している物品を使っているときがある。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 14 | 8 | ・ 子どもの状況により、集団の中での活動が難しい場合は、空き部屋やスペースを作って過ごせるようにしている。 衝立なども使用し、同じ部屋でも空間をくぎれるようにしている。 | ・ 全体的なスペースが少なく、いつでも自由に使えるわけではない。 ・ 別室にいった場合の対応職員が確保できない。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 18 | 4 | ・ 定期的に行われている。会議には関係者が参加し、その後全職員で確認している。 | ・ 広く職員が参画できていない。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 22 | 0 | ・ 毎年、評価後は、改善点を職員で話し合い、すぐに改善に動き出している。 ・ 利用者からいただいた意見については、話し合い後、保護者に返答している。 | ・ 毎年、年度の後半に行われているので、中間あたりに実施する方が改善する上では良いのではないかと。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 19 | 3 | ・ 普段から職員間で話しやすい雰囲気があるため、そこで出てきた意見や課題は速やかに話し合い、改善につなげるように心がけている。 ・ クラスや部署ごとのミーティングが多く、相談しやすいです。 | ・ 個別での定期的な意見をきく機会は少ないので、意見等を伝えるのが難しく感じる。周りの目を気にせずSOSがだせる環境があると助かる。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 21 | 1 | ・ 指摘された点において、速やかに話し合い改善に努めている。 | ・ 外部評価から、年数が経っている。 ・ 職員に周知されていないように思う。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 22 | 0 | ・ 園内研修は毎回とてもためになる。 ・ 各々が参加したい研修に対し、園負担してくれ、個人の負担を少なくしてくれる。 ・ 外部研修のお知らせをその都度周知し、見える位置に掲示している。 | ・ 引き続き、園内研修も充実させたいが、時間の確保が難しい。 | |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 20 | 2 | ・ 子どものために細やかに作成されていると思う。 | ・ ホームページへの公表はまだできていないので、今後早急に行う。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 22 | 0 | ・ リーダー職員がきめ細かい面談を行っている。 ・ 発達検査や個人面談、多職種による評価等を行い、関係職員の共通理解の下、児童発達支援計画を作成している。 | | |

| | | | | | |
|----|--|----|---|--|---|
| 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 22 | 0 | ・児童発達支援管理責任者を含めたかかわりのある関係職員全員で会議を実施して決定している。多職種で情報共有の会議をしている。 | ・クラス担任は、リーダーが主に作成しているため、結果のみ把握するので取り組むのが難しいときがある。 |
| 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 22 | 0 | ・子どもに関わる全職員が参加する会議により作成しているため、職員に周知されている。 ・子ども一人ひとりの目標としている内容がわかるように、毎日記録をつけるパソコンと共に、見やすい位置に保管している。 | ・クラス職員で相談しながら常に同じ支援ができるよう児童一覧表があれば取り組みやすいと思う。 |
| 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 18 | 4 | ・標準化されたツール、園独自のアセスメントや、日々の観察や記録等で確認ができています。 ・園独自のものは保護者と共に記録している。 ・経験豊富な職員が多いのは強み。 | ・経験豊富な職員から、経験等伝えてもらう場が欲しい。 ・行動面の評価のためのツールがないので、その都度、職員が各々の視点で記録を取り評価している。 |
| 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 22 | 0 | ・児童の発達段階や特性を踏まえ、年齢に応じた目標と児童に合わせた取り組みやすさ、順序を検討し、支援内容を決定している。 ・ガイドラインに沿った内容になっているか、その都度見直しをしながら変更している。 | |
| 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 22 | 0 | ・打ち合わせがしっかり行われ、職員間の意見が反映されやすい。 ・クラスで定期的に活動内容について話し合いを実施している。時には、リハビリ職員とも意見交換しながら活動プログラムを作成することもある。 | ・打ち合わせが多く、業務にしわ寄せがくることもあるので、効率よく打ち合わせを行う必要がある。 |
| 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 22 | 0 | ・粗大運動・机上課題・制作・感触遊び・ルールのある遊び等、バランスを考えて組み立てている。 | ・年齢や発達段階によっては、ある程度固定している方がわかりやすく、変化が見られるので、必ずしも毎回内容を変える必要はないと思う。保護者にも説明が必要。 |
| 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 22 | 0 | ・年齢や療育の経験年数、子どもの姿に応じて、個別活動や集団活動の内容の比重を、臨機応変に対応している。 | |
| 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 22 | 0 | ・報告・連絡・相談がきちんと行われていると思う。 ・職員全員が揃わないときもあるので、クラスノートに記入して、情報共有できるようにしている。 ・毎朝朝礼を実施。その後、クラスでの最終打ち合わせを実施している。 | |
| 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 20 | 2 | ・細かい情報共有をすることで、翌日の支援の方向性がはっきりする。対応が統一できる。そのことで、子ども自身も混乱しない。 ・支援後、クラス担任で、時には他職種やフリー職員も交えて、情報共有を行っている。 | ・毎日できていないときもあるので、毎日時間を決めて話し合うようにするべき。 ・時間に限りがあるため、支援内容について、毎日十分な時間をかけての振り返りは難しい。 |
| 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 22 | 0 | ・毎日記録をすることで、職員間で情報共有もでき、他職種の職員にも相談できる。 | ・療育後の会議や行事準備等で、負担に感じる時もある。 |
| 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 22 | 0 | ・定期的にモニタリングを行うことで、課題が明確になり、療育の方向性が立てやすい。 | |
| 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 22 | 0 | ・児童発達支援管理責任者やクラス担任が参加している。 | ・他のクラス担任は知らない情報が多い。 |
| 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 22 | 0 | ・ケースや必要に応じて、直接、関係機関と連携をとったり、相談支援に介入してもらい、連携を取るようになっている。 ・子どもの状態を的確に把握するため、必要に応じて、医師からの指示書を事前にいただいている。 | |

| | | | | | | |
|--|--|--|----|--|--|---|
| 関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 22 | 0 | ・保護者と一緒に書類を作成し、引継ぎ(面談や見学等)をして情報共有するようにしている。また就園してから、一度はこちらから様子を見に行き、引き継ぎしたりや相談を受けたりしている。必要であれば、支援を継続的に行っている。 | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 21 | 1 | ・個別の教育支援計画の作成、入学前もしくは入学後すぐに、見学に来てもらったり、引き継ぎのための面談を行っている。また、入学後はこちらから訪問し、情報交換、情報共有を行っている。 | |
| | 28 | (28~30は、センターのみ回答) | 21 | 1 | ・近畿肢体不自由児施設連絡協議会に所属し、他市のセンターの情報を得たり、研修会にも参加している。 ・他事業所から相談があったときには、関係職員が話を聞き助言を行っている。 | ・市内の事業所との連携は少ないので、質の向上に向け、今後どのように取り組んでいくのか、市とも話し合いながら検討する必要がある。 |
| | | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | 22 | 0 | 外部研修の案内があれば朝礼等で周知し、いつでも閲覧できるようになっている。 外部研修については、機会が均等に設けられている。研修費の補助がでる。 外部の専門家や医師の話を聞く機会がある。 | 専門家や専門機関等の助言は一部の分野に限られている。 外部の専門家にきてもらって助言をもらう機会が少なく、今後増やす必要あり。 |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | 20 | 2 | ・園長がこども支援部会に参加している。 | ・会議内容の報告が一部職員にしかできていないので、全職員にするように心がける。 |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) | / | / | / | / |
| | | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | | | | |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもも活動する機会があるか。 | 20 | 2 | ・各家族の地域での幼稚園やこども園との交流を実施している。 | ・家族だけの参加なので、交流の様子は保護者からの聞き取りだけになる。 ・コロナ感染拡大前の交流までには戻っていない。今後検討が必要。 |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 22 | 0 | ・保護者同伴通園のため、その都度お話をし、共通理解をしている。 | ・保護者と話し込みすぎて、子どもの安全確保がおろそかになる場面もあるので、じっくり話したいときには、療育時間後に時間を取ったり、応援職員を呼ぶようにする。 |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 22 | 0 | ・研修会の機会も多く作っているが、保護者同伴通園のため、その都度、保護者と職員とが意見交換しながら療育を行っている。 | | |
| 保 護 | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 22 | 0 | ・入園時に、説明しており、疑問には丁寧に対応するように心がけている。 | |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 22 | 0 | ・保護者には振り返りシートの記入や面談を通して意向の確認を行っている。保護者の意見を聞き、反映されるように作成している。 | ・子どもの最善の利益は意識しているものの、意向の読み取りは難しく、家族の意向の確認にとどまっている。 |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 20 | 2 | ・面談時に、児童発達支援計画を見せながら、説明を行い、疑問にもお答えし、同意を得ている。 | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 22 | 0 | ・面談を、年2回は実施。他に、必要に応じて面談時間をとったり、保護者同伴通園時に相談を聞いたりしている。職員一人では解決できないことは、持ち帰って、職員間で話し合っ返答するようにしている。 ・メールや電話での相談も行っている。 | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 22 | 0 | ・保護者交流会を設定したり、研修会で交流や意見交換をする機会を作ることで、保護者同士の関係づくりができています。 ・分離療育日設けることで、保護者間の交流が取りやすくなっている。 | ・きょうだい同士が交流する機会は設定できていない。今後検討する必要あり。 |

| | | | | | | |
|---------------------------------|--|---|----|----------------------------|---|---|
| 者 へ の 説 明 等 | 40 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 22 | 0 | ・保護者からの相談があったときには、その都度面談をとるようにしている。 ・また、要望があったときには、迅速に職員で話し合い、面談等で保護者に返答したり、対応するようにしている。 | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 22 | 0 | ・現在は、月1回の園便りと4週間分の週間プログラムを、書面で渡している。 ・急ぐ内容の連絡事項は、メールや電話で伝えている。 | ・SNSは使用していない。定期的なお便りは、HPにはのせていない。今後ペーパーレスに向けて検討が必要。 |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 22 | 0 | ・写真撮影・ビデオ撮影について、保護者に詳しく説明したり、保護者の意見を聞いて同意書を得たりしている。 ・個人情報はパソコン内に保存しないようにしている。パソコンも個人ファイルも、鍵のかかるロッカーに保管している。 | |
| | 43 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 22 | 0 | ・子どもや保護者にわかりやすい伝え方を、職員間で日々共有している。 ・絵カードや実物・絵を描いて示す等利用しながら、子どもと意思疎通ができるように心がけている。 | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 8 | 14 | ・行事に招待する機会はないが、地域の保育所等の相談を受けたり支援することで、地域の子育てをしている方からは、相談の電話があったりする。 | ・コロナや感染症の対応を考えるとなかなか踏み切りにくいが、今後、再検討や企画が必要。 |
| 非 常 時 等 の 対 応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 20 | 2 | ・マニュアルが作成されており、毎年、4月初めには、職員全員で確認をしている。 | ・時々、読み返すことが必要だと感じる。 |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 22 | 0 | ・防災訓練を毎月1回実施している。そのことで、イレギュラーなことが得意な子どもたちに経験を積んでもらうことができている。防災頭巾もかぶれるようになった。 | ・備蓄食について、医療的ケアの必要な子どもに合わせた食形態の備蓄がまだ十分ではない。法人内で連携する必要がある。 |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 21 | 1 | ・入園前には、看護職員中心に聴き取りを行ったり、健康表を記入してもらっている。 ・毎年、4月初めに、職員全員でてんかん発作等がある子どもと対応の仕方を確認している。 | ・入園前に聴き取りができていない子どもがいたので、聞き漏れがないように確認が必要。 |
| | 48 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 22 | 0 | ・入園前や継続する子どもは毎年、医師からの意見書を記入してもらい、それに基づいて給食を作り、対応をしている。 ・毎年4月初めに、職員全員で、対象児と状況の確認を行っている。 ・給食の配膳の仕方も、再確認をしている。 | |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 21 | 1 | ・全体で取り組んでいる。危険なものは、すぐに修理や点検を行っている。 ・火災や地震など避難訓練を行っている。 | ・年度初めに職員研修を実施しているが、年度途中で再度確認する必要あり。 |
| | 50 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 17 | 4 | ・安全計画についての説明はしていないが、散歩時や避難訓練時等に、子どもの安全確保ができるように保護者に声をかけている。 ・家庭での安全確保について、必要な家族には一緒に考えている。 | ・保護者に安全計画の説明ができていないので、説明が必要。 |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 20 | 2 | ・毎月、職員会議で職員全体に報告し、共有している。すぐに対応しなければいけないことは、その都度集まり、職員に周知している。 | ・ヒヤリハットにあげるかどうか、個人差が見られる。 |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 22 | 0 | ・虐待防止の研修会を年1・2回実施。各自でチェックリストをつけて、各自の行動をみ振り返る機会を作っている。 | ・子どもへの対応には、職員の技量や考え方の違いが顕著にあらわれると思う。 ・支援か虐待になってしまわないか、悩むことがある。 |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 20 | 2 | ・児童発達支援計画に記載の上、説明と同意を得ている。 | ・子どもの特性によっては、やむを得ない場合が多くなってしまふ。学年やクラスによっても違う。 | |